

地域おこし協力隊 奮闘記 Vol.14



今月は
佐々木正志が
書いています

こんにちは！ 地域おこし協力隊の佐々木正志です。

東京を離れ、4月から観光部門の地域おこし協力隊として大山町で活動を始め、2か月が経過しました。町民の皆さんに私たち協力隊員のことをもっと知ってもらいたいと思い、今回は「私が大山町に来た理由」についてお伝えします。

なぜ、大山町に？ それは…“人”！

これは、出会う方から必ずとんでもないぐらいい聞かれる質問です。答えはとてもシンプルで、「大山町が好きになったから」。

あるきっかけで、協力隊観光部門の採用があるのを知り、直感の赴くまま、まずは行ってみようとして下見のつもりで大山町を訪れました。

何のあてもない訪問だったのですが、自然・空気の良さは言うまでもありません。そして何よりも、その際に出会ったこの町の“人”にいつぱんに惹かれました。まさに一目惚れで、「直感は間違っていない」と思い、すぐさま応募しました。

採用された今でもそれは変わっていません。私がそうであったように、今後の活動を通して、大山町を好きになる「人」をさらに増やしていきたいと思っています。

初めて訪れた時に私が感じたのは「こんなにも自然豊かで、素敵な人々が集まる場所をなぜ今まで知らなかったのだろう」という気持ちでした。

【地域おこし協力隊】

佐々木正志 (東京都世田谷区出身)

ニックネームは「まーしー」です。

バスケットボールとおにぎりが大好きです。

◆問い合わせ先 観光商工課

☎0859-53-3110



▲夏山開きを前に、夏山登山道の整備を行いました (5月20日)

観光を盛り上げる ヒントは自分の中に

東京で生まれ育った私にとって、ここでの生活は180度違います。また、インターネットで協力隊の募集を見つけるまで、大山町のことは全く知りませんでした。

そんな私だからこそ、大山町の魅力を最も観光客側に近い目線で見ることができていると思っています。全てが新鮮に見えることは、私の武器です。町民のみなさんには、いつもの風景、いつもの食事であっても、私には光り輝いて見えます！見る人によっては、ダイヤモンドに変わる原石が、ここにはゴロゴロ転がっているのです。

しかし、どんなに大山町が魅力的な場所であっても、知らなければこの町を訪れることは、まずないでしょう。

そのためには大山町を知ってもらうことが何よりも重要。

そんな想いから、情報発信の一つの手段として、自分がこの町で見たり体験したことをまとめたブログを始めました。うれしいことに、私のブログを見て、実際に遊びにきてくれた人もいましたし、福祉施設や小中学校でパフォーマンスを披露して活動している団体からも「ぜひ大山町で活動してみたい」と問い合わせもいただいています。

私がこれから感じていく一つ一つのことに大山町の観光を盛り上げるヒントがあると確信しています。魅力を発信しながら、観光を盛り上げるべく日々活動していきます！